

1. 日本遺産を巡るモニターツアーを八代東高校生が企画 5分

○東高の生徒さんによる石橋の案内は、本人も楽しそうで表情も明るくて、番組の中でも光っていました。こういう様子をていねいに映像にできていることは、ケーブルテレビとしての技術のレベルが上がってきたことを感じさせてくれるものです。地元の皆さんが各々の得意分野で協力されていることも、見る人達にほっこりとした気分を味あわせて下さいました。

○取材日をナレーションで3月10日と言われていましたが、あとでいつだっけ？と思ってビデオを見直しました。ナレーションと共に、テロップでも日付が流れるといいと思いました。（「奇跡のピアノ」では日付入りのテロップが最初に流れたので、そう感じました。）モニターツアーの全体像の図はもう少し字が大きい方が見やすいです。盛りだくさんの内容の中で、東陽町を中心とした話題がコンパクトにまとめられていました。おいしそうな前田スエメさんの料理とイワナの塩焼きが画面からも良く伝わりました。サクラの時にまた来たいとの参加者の声が、このツアーの良さを物語っているようでした。

○日本遺産を巡るモニターツアーという事で、ツアーの全行程を見たかったのですが、日本遺産という事で、東陽の場面が放送された様ですが、よくぞ地元、東陽ではない子供達が企画してくれたなあと感じ、驚いています。

8名のツアー客という事でしたが、関係者の方々だと思いますが、大部多く、映し出されていました。（追伸、地元東陽中学校の生徒達も去年の生姜祭りの日を皮切りに、中学生ボランティアガイドとしてデビューしました。毎月第1日曜日の出番ですが、その後、1～2回の出番しかありません。まだまだ宣伝が足りないのか寒いせいかわかりませんが、暖かくなって来たら申し込みが増えると思います。皆さんも是非、ご利用ください。ケーブルテレビでもその事をもっと宣伝して下さい！）

○八代東高校生が企画し、モニターツアーで現地で石橋の歴史と地域への貢献、モニターさんへのガイドを行う経験ができた事は、生徒達のこれから社会に出ていった時に良い経験となり、ステップUPするのではないかとエールを送ります。

○自分の住んでいる地域にも日本を代表する、世界に誇れる遺産があり、脈々と伝え継承してきた技術があります。今でこそ石橋は造られませんが、当時は先進であり、地域の交流や生活を支える重要な役割を担っていたでしょう。重機が無い時代に重い石を切り出し、運ぶには大変な労力だと思い、それに加えて橋として堅牢に精確に組み上げる技術は当時の人々の汗や願い、匠が凝縮されている様に感じました。私たちは、それらを大切に後世に伝えていかなければなりません。若い世代に企画から体験させることにより、より一層、郷土の誇り、伝える事の大切さを実感したのではないのでしょうか。また、参加された方も地元とはいえ新しい気づきや感動がえられたのではないかと思います。番組では若い世代の活躍をより多く取り上げて頂きたいと思います。

○ツアー参加者の感想と東高生徒のガイドの様子がとれていて良かった。

○高校生が東陽の魅力を日本遺産や食を通じて伝えるツアーについては、東陽の食の名人さんが地元食材のショウガ等をふんだんに使ったお弁当で皆様喜ばれていました。

良いツアーだと思いました。

2. どこそこ気になる隊「お茶の泉園」 5分

○五家荘のお茶農家を代表する泉園さんのこだわりも分かりましたが、何よりも体にいいお茶を毎日飲んでいる私達は幸せだと思います。「いずみのお茶」をもっと多くの方々に知って頂きたいです。これを機に、何軒かのお茶農家を訪ねるシリーズにしたらどうでしょうか。今までにない番組に新しさを感じました。

○毎日飲んでいるお茶は、温度が大切だとよく分かりました。適宜入るテロップも良かったです。お店はどこにあるのだろうと思いつつ見ていたところ、最後に場所のテロップが出てきて、なるほど、このような作り方もあるのだなと思いました。一度お茶を買いに行ってみようと思いました。

○気になる新規のお店を取材する番組かと思いますが、ポイントになるヶ所は大きい文字のテロップを使い、宣伝説明が有り、とてもわかりやすく大変有難いです。知らない所(店)が大部有りますので、テレビで色々を紹介して頂ければ幸いです。

○泉のお茶の質、成分と旨いお茶の飲み方を示して頂き、勉強になり、お茶を飲む時は教えてもらった方法で飲みたいと思います。身近な泉茶を飲みたいくなりました。

○人口減少、高齢化が進むなか、後継者の不在もあり、地元のお店が次々と閉店を余儀なくされています。その中で地元の特産であるお茶にスポットを当て、長年、頑張っておられる「お茶の泉園」を番組としてとりあげた事は、とても励みになり良かったと思います。

更にブランドとしての価値を高め、「泉から世界へ」を実現して頂きたいと思いました。また、地元には老舗と呼ばれる長年に渡って愛されるお店が数多くあります。味を守り、時代に合わせ発展させてきたブランドは、これからも地元の味として残ってほしいと思います。番組でも「地元の老舗」をもっと取り上げていいのではないのでしょうか。

○お茶の淹れ方等、お茶の事が良く解る内容で良かった。

○粉末にしたお茶に興味がありました。中国や世界へと輸出を考えているとのこと、ティーパックだとお茶を飲むのも扱いやすいと思いました。ティーパックのデザインも可愛らしく、パッケージも日本って感じで外国人の皆様も手に取っていただけそうです。

3. やっちろ弁、わかるかいた？坂本町 深水編 5分

- まったく分らない「やっちろべん」ばかりで、びっくりしました。見ながら笑ってしまいました。「ふんちゃいだ」だけは知っておりました。見て楽しくなれる番組は、ずっと続けて頂きたいと思います。
- 軽妙でユーモラスなやりとりが音楽と良くマッチしていました。ほっと一息つける番組に仕上がっていると思います。シリーズものとしてこれまでいくつの「やっちろ弁」が登録されたのかな？との思いもわいてきます。例えば、何番目と番号を付けて「やっちろ弁」の説明を出すのも面白いかもしれませんね。最後の「走水の滝」は雄大で、行ってみたいくなりました。どのあたりにあるのか、簡単な地図があればもっと良かったと思いました。
- 今は殆んどしゃべらない方言が出て来て、懐かしく思いました。土地柄が変われば若干違う所も出て来みたいですね。テロップで例、意味が出て来て大変わかりやすいです。やっちろ弁を知らない河野さんが面白いです。
今は小学生でも普段標準語を喋るので、やっちろ弁をしゃべっているお年寄りも亡くなっていくし、将来方言をしゃべる人はいなくなるのではないのかと、一末の不安を感じます。
将来、やっちろ弁特集の冊子を作ったらどうですか？
- このコーナーは興味をもって見えています。同じ八代でも地域が違えば話している内容が理解できず、地方独特な風情になります。八代弁の文集が出来たら見てみたいものです。
- 想像はつくけど、なんとも言い表し難い（言い換えにくい）独特のニュアンスが方言の魅力だと思います。その地区ならではの言葉、言い回しがあり、番組ではとても和やかな雰囲気の中で伝えていきます。笑顔有り笑いあり、取材されたおじいちゃん、おばあちゃんも幸せな時間だったと思います。わたしも「ウットンギャーテ」は知りませんでした。「???」から始まるコミュニケーションもいいなと思います。方言は、やっちろ弁は、場を和ませることができます。年間ベスト版や、ダイジェスト版に発展させ「やっちろ弁大賞」で表彰されたら喜んでもらえると思いました。
- おもしろい。八代出身でないのでほとんど解らない。見るのを楽しみにしているが、あまり番組に出していない。
- 地元でも全然言葉が違い、たいへん面白く拝見いたしました。「つぼらしか」初めて聞きました。

4. 甦れ、わたしたちの「奇跡のピアノ」旧藤本小学校 ピアノ再生プロジェクト 10分

○他のマスコミ等でこのピアノのことを知っていましたが、被災した直後の様子は、地元ならではの映像だとあらためて感動しました。

ピアノを送り出す皆さんの表情がなんとも言えなくて、皆さんの願いがかなうことを祈りたいと思います。

校歌の歌詞のアップや古い写真等は、戦後生まれのほぼ同世代の方々の胸を打つものがありますね。番組の長さも丁度良かったと思いました。

○地元密着のケーブルテレビならではの番組でした。廃校の時から放置されたままのピアノは地域の方の思い出が詰まったもので、そのまま廃棄されるのはとてももったいないことですね。復興のシンボルとして生まれ変わって帰ってくる日の貴重な第一歩をていねいに取材されていました。最後に流れてくる昔の映像とBGMが、あのピアノが帰ってきて再び演奏されることを連想させ、とても良かったです。

○67年前のピアノが閉校後そのままになっており、ずいぶんホコリをかぶっていました。ピアノを修復に出すという事で、夢倶楽部のメンバーで、我が娘を嫁に出すという様な感じでホコリを落とし、綺麗に磨き上げ、ピアノが運び出されていくのを静かに見守り、見送りしている様子がとても哀愁を感じました。

全体的に物悲しい仕上がりになっていました。（良い意味で）

次は是非、甦ったピアノが帰って来てからの特集番組を制作して頂きたいと思います。（今度は明るく楽しく）

○旧藤本小学校のピアノが閉校式典で使われたであろう、また、令和2年の大水害でも流されず残っていた事が感慨深いです。現状では使用できず、専門業者に修理を委託するという事で、修理後、ピアノをひかれる場面を見たいものです。

○近年は、クラウドファンディングなどで大切な物事に共感した人に出資を募るスタイルが一般的になってきました。このことは、情報を伝える範囲が地域や日本のみならず、世界に向けての情報発信ができる時代になったことが背景にあります。それぞれの想いとそれに共感する人のマッチングとして、この番組企画「奇跡のピアノ」が成功したらいいなと思いました。今回は、坂本の災害もあり、特別なケースとは思いますが遺していきたいという地元の卒業生、おばあちゃんの想いが伝わっていい企画だと思いました。事実、情報を正確に伝達することも大切ですが、ケーブルテレビでは「想いを伝える」番組、企画であってほしいと思います。

○内容が良かった。何でもすててしまふ時代、ピアノをよみがえらせてコンサートを開くという夢があって良い。

昔はこんなに子供達いたんだ。今は少なくなってしまうとさみしい。

自主番組に対する全体的な意見

○一年振りにDVDを拝見しました。街中などでイベント中にお会いすることはありましたが、地元根差した番組を着々と作っておられることをあらためて感じました。

各番組のBGMもいい感じで流れており、ナレーションも以前に比べると、ゆっくりはっきりとした口調で、皆さん方の努力の結果を聴かせて頂きました。ナレーションだけが映像の中から飛び出さないように、心地良く流れることを気かけて頑張ってくださいと思います。聴き手に安心感を与えることのできる話し方を目指して下さい。各番組が、時間の中で上手く収まっているのを感じました。

○地域の方に送る番組は、やはり地域の方が取材するのが一番です。特に坂本地区では多くのものが失われ、今だに復興の真っ最中にあります。未来に残す映像のアーカイブとしての役割も果たすことが出来る自主番組をこれからも作り続けて頂きたいです。

○コロナのせいかわかりませんが、以前はもっとその地区毎のイベントとか行事とか放送されていましたが、近頃は随分少なくなった様に感じます。

正月前後は再放送が多かった様に感じます。多分、故郷に帰って来た人が観られる様にとの考えでしょうが、昨年の成人式の再放送を今年の成人式のかと勘違いして観てしまいました。

取材に行きにくくなったのか、行事が少なくなったのかわかりませんが、私達も折角地区の代表をしているので、色々なイベント情報を提供した方が良いのではないかと感じています。

○各番組楽しく視聴させて頂きました。

地域の方言など面白く視聴させて頂き、また、八代地域内でも意味が繋がらないことが多々ある事が分かり、興味深く思いました。

八代管内で有名ではない名所めぐりは、八代住人として再発見、また、認識できることになり、今後も続けて頂きたいです。

○ケーブルテレビでは「想いを伝える」番組、企画であってほしいと思います。その為にはやはり地元密着し、それぞれの想いを感じなくてはならないでしょうし、作り手の想いも大切です。これからもケーブルテレビならではの番組企画を発信していただきたいと思います。

今に始まったことではありませんが、テレビの視聴スタイルが変化しています。ブロードキャストから個々が見たい番組を選択して視聴し、チャンネル争いをすることが無くなりました。

効率的である反面、考えさせられる番組企画が減って偏った思想になってしまうのではないかと思います。番組について、もっと視聴していただけるようPRが必要では無いかと感じます。番組の内容についてダイジェストで紹介するとか、他の媒体(チラシやweb)でのPRなど地元密着のケーブルテレビならではの取り組みを期待しています。

○この番組を楽しみにしている人がたくさんいると思う。ぜひ続けてほしいと思う。

○今後も地元色を生かした番組作りをお願いしたいです。